【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-532926(P2004-532926A)
【公表日】平成16年10月28日(2004.10.28)
【年通号数】公開・登録公報2004-042
【出願番号】特願2003-506371(P2003-506371)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｌ 101/02
　Ｃ０８Ｌ　33/00
　Ｃ０９Ｄ 133/04
　Ｃ０９Ｄ 201/02
　Ｃ０９Ｊ 133/04
　Ｃ０９Ｊ 201/00
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｌ 101/02
　Ｃ０８Ｌ　33/00
　Ｃ０９Ｄ 133/04
　Ｃ０９Ｄ 201/02
　Ｃ０９Ｊ 133/04
　Ｃ０９Ｊ 201/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月1日(2005.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ａ）側鎖反応性求核官能基または側鎖反応性求電子官能基を含む複数の重合化モノマー単位を含む、炭素－炭素主鎖を有しかつ３００以下の重合度を有する第１のオリゴマー成分と、
ｂ）前記第１のオリゴマー成分の前記側鎖反応性求核官能基または側鎖反応性求電子官能基と共反応性の側鎖官能基を含む複数の重合化モノマー単位を含む、炭素－炭素主鎖を有する前記第１のオリゴマー成分と共反応性の第２のオリゴマー成分と、
を含む段階成長硬化性オリゴマー組成物であって、
ａ）とｂ）の少なくとも一方が２より大きい官能価を有し、前記組成物が１００℃以下の温度で溶融加工性であり、かつ、前記組成物は２重量％未満の残留分を有する、段階成長硬化性オリゴマー組成物。
【請求項２】
　前記第１のオリゴマーは、
（ａ）炭素原子数１～３０の非第三級アルキルアルコールのアクリル酸エステルから誘導された重合化モノマー単位０．０１～９９．９９重量部と、
（ｂ）反応性求核官能基および／または反応性求電子官能基を有するエチレン系不飽和モノマーから誘導された重合化モノマー単位９９．９９～０．０１重量部と、
を含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】

前記第１のオリゴマーは、
（ａ）炭素原子数１～３０の非第三級アルキルアルコールのアクリル酸エステルから誘導された重合化モノマー単位７５．００～９９．９９重量部と、
（ｂ）反応性求核官能基および／または反応性求電子官能基を有するエチレン系不飽和モノマーから誘導された重合化モノマー単位０．０１～５．００重量部と、
（ｃ）少なくとも一種の極性モノマー０～１０重量部と、
（ｄ）少なくとも一種の他のモノマー０～１０重量部と、
を含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記反応性官能基と前記共反応性官能基の少なくとも一方は保護された官能基である、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記第２のオリゴマーは、
（ａ）炭素原子数１～３０の非第三級アルキルアルコールのアクリル酸エステルから誘導された重合化モノマー単位７５．００～９９．９９重量部と、
（ｂ）前記第１のオリゴマー成分の前記反応性基と共反応性の求核官能基または求電子官能基を有するエチレン系不飽和モノマーから誘導された重合化モノマー単位０．０１～５．００重量部と、
（ｃ）少なくとも一種の極性モノマー０～１０重量部と、
（ｄ）少なくとも一種の他のモノマー０～１０重量部と、
を含む、モノマー混合物のラジカル重合によって現場で調製され、但し、架橋の前に残留分が２重量％未満である、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
請求項１に記載の組成物を含む１０００以上の架橋間平均分子量を有する架橋済み組成物。
【請求項７】
前記第１のオリゴマー成分の各反復単位は本質的に側鎖反応性官能基を含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
前記第１のオリゴマー成分はポリ（２－ビニル－４，４－ジメチルアズラクトン）を含む、請求項７に記載の組成物。
【請求項９】
段階成長付加プロセスによって硬化可能である、請求項１～８のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１０】
基材の少なくとも一つの表面上に架橋済みポリマー組成物の被膜を有する基材を製造する方法であって、
（ａ）請求項１～９のいずれか一項に記載のオリゴマー組成物を前記基材上に被覆する工程と、
（ｂ）第１のオリゴマーの反応性基と第２の成分の共反応性基との間に共有結合を形成することにより前記第１のオリゴマー成分および前記第２の成分を熱架橋する工程と、
を含む方法。
【請求項１１】
前記オリゴマー組成物は、工程ａの前に２２℃で７５０～７，５００ｃＰの塗布可能粘度に部分的に転化されている、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記オリゴマー組成物は、
（ａ）前記第１の成分１００重量部当たり、前記第１のオリゴマー成分のオリゴマー鎖当たり２個より多い架橋を提供するのに十分な量の第２の成分と、
（ｂ）２重量部未満の残留分と、

（ｃ）０．０００１～約３．０重量部の段階成長触媒と、
を含む、請求項１０に記載の方法。